《著者紹介》

永井純一（ながい・じゅんいち）

1977年　兵庫県生まれ。
2012年　関西大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。
現　在　京都橘大学経済学部教授（音楽社会学、メディア研究）。
著　作　『ロックフェスの社会学――個人化社会における祝祭をめぐって』ミネルヴァ書房、2016年。
『文化社会学の視座――のめりこむメディア文化とそこにある日常の文化』共著、ミネルヴァ書房、2008年。
『ポピュラー文化ミュージアム――文化の収集・共有・消費』共著、ミネルヴァ書房、2013年。
『観光メディア論』共著、ナカニシヤ出版、2014年。
『現代メディア・イベント論――パブリック・ビューイングからゲーム実況まで』共著、勁草書房、2017年。
『デジタルメディアの社会学［第3版］』共著、北樹出版、2017年。
『メディア社会論』共著、有斐閣、2018年。
『私たちは洋楽とどう向き合ってきたのか――日本ポピュラー音楽の洋楽受容史』共著、花伝社、2019年。
『ライブミュージックの社会学』共著、青弓社、2025年。
『音楽社会学――統計データで読む現代人と音楽』共編著、新曜社、2026年、ほか。